

「ICTインフラ地域展開戦略検討会」 討議資料

株式会社ソラコム
2018/4/3

本検討会における地域の社会課題として、大別して

- **人口に関するもの（人口減少・人口構造の変化）**

- **ICT インフラ整備や利活用(人材)に関するもの**

が挙げられておりますが、前者のうち特に

- **生産性の向上（労働人口の減少/高齢化に対応するもの）**

- **持続可能性の向上（既存サービスの運用コスト低減等）**

に寄与するものとして、いくつかの事例をご紹介します。

利用事例(生産性向上:農業・漁業・土木・介護見守り)



・IT工房Z様
5分で始める、スマート農業「あくりログ」で遠隔監視・知見を可視化
ガラス・ビニールハウスの設備環境をセンシング、データ分析。SORACOM Airの通信でどこでも設置・開始可能。



・ウミロン様
魚の群行動解析プログラムで、海での養殖の給餌の量とタイミングを最適化
魚群センサーにSORACOM 養殖事業者の安定生産とコスト削減を実現



・チカク様
スマホで撮った子どもの写真・動画を実家のテレビへ配信するためのネットワークにSORACOMを利用



・プリンシプル様
500~980円/月で使えるホームセキュリティの通信にSORACOM
宅内のセンサーが異常を検知した際の通報や、ホームセキュリティ機器類の死活管理に使用



・株式会社ライナフ様
不動産物件の内覧を効率化。物理的な鍵を不要にする「スマート内覧」
内見予約システムでオンライン鍵を発行。スマートロックの開閉の通信にSORACOM



・株式会社ハイク
鳥獣対策向け自動撮影カメラ「ハイクカムSP4G」で利用
熱感知センサーで動物を自動撮影
静止画・動画をSORACOM Airでクラウドへ送信し、捕獲罠を24時間低コスト監視

利用事例(持続可能性向上:交通・医療・防災情報配信)



・岡山県玉野市様

地域公共交通サービス乗り合いタクシー「シータク」

(協力パートナー: コガソフトウェア様)



・十勝バス株式会社

路線バスの運行案内にSORACOM Air

協力パートナー: 株式会社ユニートランド



・中野区産業推進機構様

商店街の人の導線分析し地域経済・防災・観光のプランニングに活用

街にゲートウェイを設置し、Beaconで移動データを取得・データをクラウドに蓄積・分析

協力パートナー: NHNテコラス様



・コニカミノルタ様

医療機関様の外国人患者診療業務をタブレットでサポート

SORACOM Airと管理機能により、通信コストの最適化と回線管理の効率化を実現



双方向・マルチデバイス対応の情報配信サービス

・NTTアドバンステクノロジー様

防災情報配信サービス (@InfoCanal) の専用受信機。携帯電話網を利用し、防災情報・エリアメールの受信や到達確認などの双方向通信が可能。

SORACOM AirとBeamを利用しクラウドサービスとの連携を容易に且つ大量・同時・セキュアに実現

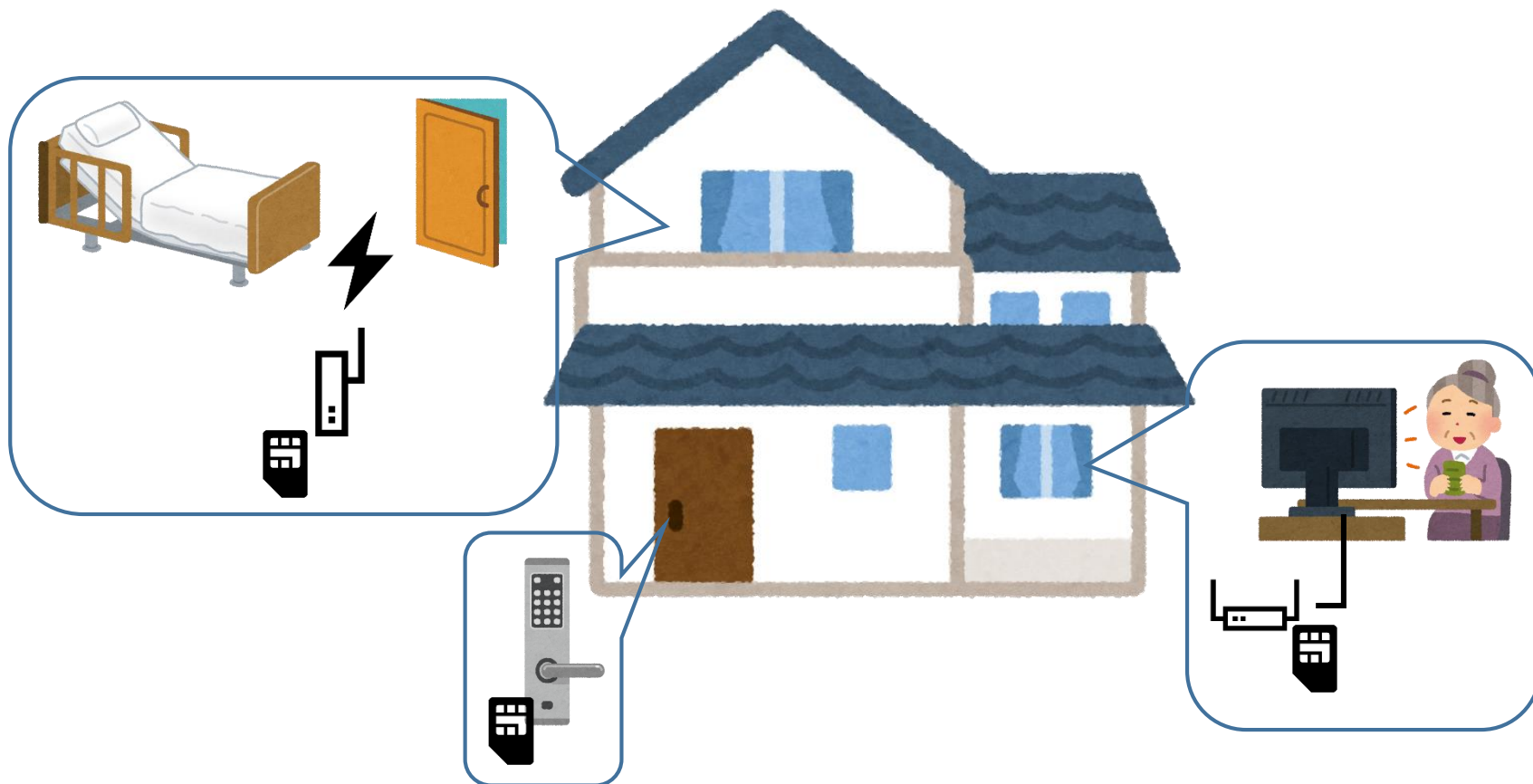


・北良株式会社様

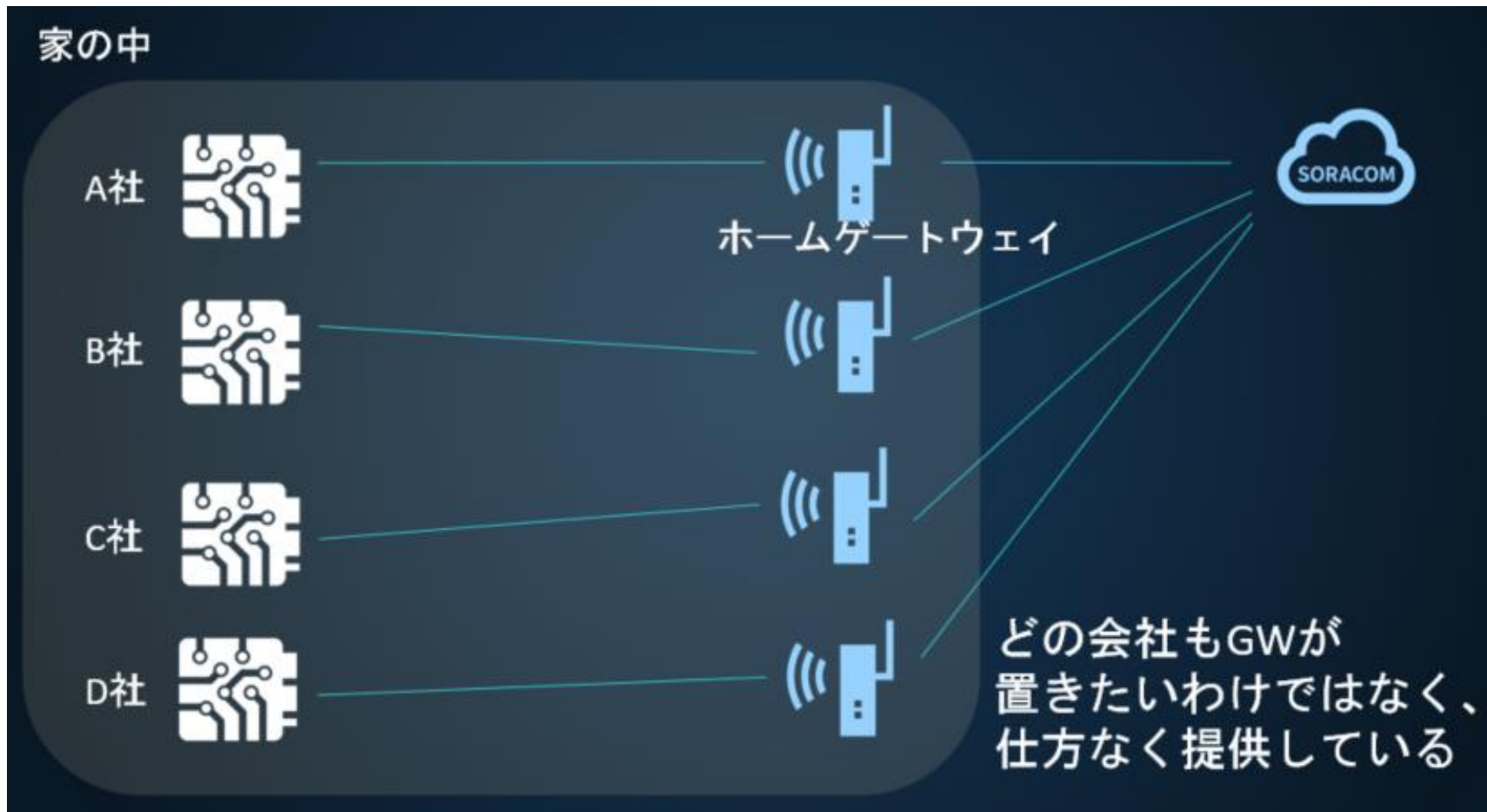
在宅患者の安否確認システムにSORACOM

通常は、停電を監視。災害時に携帯すれば、患者の位置情報を送信

今後「B2B2Xモデルの拡大」や「(通信を含んだ)サービスモデル」の提供形態で、ICT を利活用したサービスがより浸透していくと考えられます。



家の中にゲートウェイ乱立問題



現状は、サービス提供事業者がそれぞれにインフラ整備(例:宅内へのゲートウェイの設置)を行う必要があり、コストが高くなる課題があります。

- **インフラ(ネットワークや一部の利用者端末、サービス)部分は協調領域
アプリケーション(サービス)部分を競争領域
とし、メリハリや地域性を付けた整備・支援を行うことも一案と考えます。**
- **例えばスマートライフ領域の場合、**
 - **アプリケーションやサービスを追加可能な通信ゲートウェイ**
 - **防災情報の戸別受信アプリケーション****は協調領域として、相対的に厚い支援を実施し、**
 - **子供やお年寄りの見守り、セキュリティ、公共交通(デマンド交通)**
 - **ネットワークカメラや家族間の映像サービス****は各サービス事業者がインフラ・端末を利用(共有)し、結果、利用者に
安価に地域の事業者がサービスできる環境整備・試行も一案ではないか。**

- **スマートライフに限らず、製造業やインフラ保守等においても同様に、地域の特性や事業者を活かすべき部分と、効率的なインフラの展開について考慮すべきと考えます。**
- **通信インフラについても、例えば**
 - **有線と無線の使い分け**
 - **無線(携帯電話網)上で利用用途に応じたネットワークのスライシングといった形で、物理的な新規のインフラ構築に限らない検討を行うこと、**
- **将来的には、地域BWAやPS-LTE(公共安全分野のLTE)の平時利用及び民間への開放等、電波資源の有効利用や、設備事業者のみでは展開が難しい地域への対処を頂くことで、地域の課題を解決されることを期待しています。**